

集英社が発行する女性ファッション誌『PINKY』《ピンキー》の休刊が、9月9日に発表された。12月22日発売予定の2010年2月号で、約5年間の幕を閉じる。『PINKY』は2004年8月に、「ギャルは卒業、でもコンサバじゃつまらない」というキャッチコピーで創刊された。

《景気低迷で出版業界が厳しい環境に置かれるなか、「中長期的な展望」（広報室）に基づいて休刊を決めたという。創刊当時の発行部数は約30万部だったが、ここ1年間は平均19万部まで落ち込んでいた。定価は600円。》

と、新聞紙上では報道されたが、実際の部数はさらに落ち込み、10万部割れに追い込まれていた。この分野、10代後半～20代前半の女性向けファッション誌の部数減は、ほかの世代向けのファッション誌より激しいものになっている。いわゆる赤文字系は、ついこの前までトップだった『CanCam』（小学館）が凋落し、いまは『ViVi』（講談社）がNo.1だが、それでも30万部前後。『JJ』（光文社）にいたっては、10万部を割るようになっている。

となると、『PINKY』の次は、『JJ』が追い込まれていくのはほぼ確実と見られている。